

おおたけ市議会だより

OTAKE CITY

2016
(平成28年)

8

No.186

立戸保育所 セタまつり
(平成28年7月7日)

◆第2回定例会	2ページ	◆議会日誌	13ページ
◆一般質問	4ページ	◆9月議会日程	13ページ
◆陳情/請願/意見書	11ページ	◆議会報告会	14ページ
◆審議結果表	12ページ	◆スマイルインタビュー・あしがき	16ページ
◆特別委員会報告	12ページ		

第2回 定例会

総務文教委員会

主な審査内容

●平成28年度大竹市一般会計補正予算(第1号)

【歳入】歳入歳出にそれぞれ3億6,216万6,000円を増額するもの

【歳入】

・小方公民館等解体補償費

251,245千円

・地方創生交付金

20,000千円 ほか

【歳出】

・地方創生事業基金積立金

328,760千円

・小方地区のまちづくり基本構想策定事業委託料

20,000千円 ほか

Q 小方地区のまちづくり基本構想について2次募集(※)が採択された場合の発注時期と、不採択になった場合の財源について問う。

(※) 1次募集は平成28年3月に不採択

A 2次募集については、県を通して申請を出したばかりで、まだスケジュールも示されていないが、早く

ても8月中の発注になるのではと考えている。2次募集でも不採択だった場合については、可否が決定されるであろう7月までに次の財源を検討していきたい。

Q 2次募集も不採択だった場合は財政調整基金を崩してもやるべき事業だと思うがどのように考えているのかを問う。

A 一般財源を使うことも考えて、今このタイミングでしなければいけない事業なのか、種々考慮していきたい。

Q 小方地区のまちづくり基本構想の策定にあたっては、前任期中にまちづくり対策特別委員会での議論した資料は参考にしていただけるのか問う。

A 市民を代表する皆さまが、知恵を絞り作成したものを提案していただいた。そのことは頭に入れながらこれからのことを考えていきたい。

本会議へ

本会議での採決の結果
原案のとおり可決

生活環境委員会

主な審査内容

●大竹市の特定の事務を取り扱う郵便局の指定に関する条例の制定について

【解説】現在、支所等のない阿多田島において、住民の利便性の向上を目的として阿多田島郵便局で各種公的証明書の交付事務を取り扱うことができるよう条例を制定するもの。(あたたかあたた基金を充当)

Q 専用機器の設置とは、どういうものを言うのか。また、専用機器使用分の電気料金は、どういふふうに計算するのか。さらに事務手数料の160円とは、利用者にプラスし請求するものなのか問う。

A 専用機器とは、支所等でも使用している戸籍や住民票等をFAXで送信するための複合機であり、公印を押印する機能がある。電気料金は、子メーターを設置し、機器の使用量が分かるようにする予定である。事務手数料は、請求1件につき、市から郵便局へ支払うものであり、住民

の方が支払う交付手数料は、本庁や支所と同額である。

Q 郵便局からすれば専用機器を置くスペース等が必要となる。1件160円という事務手数料は、どうであるのか問う。

A 160円(税別)という金額は、これで元が取れるのかと言えは難しいと考える。郵便局としては地元に貢献したいという意向もあり、こういうサービスを展開していると伺っている。

Q 阿多田島の住民が、戸籍や印鑑証明書等を申請する件数は、どの程度と見込んでいるのか問う。

A 阿多田地区だけの統計を取っていないが、およそ年間で100件から150件程度と見込んでいる。



阿多田

第2回定例会は、平成28年6月13日～6月27日の15日間行われました。
詳細については、平成28年9月ごろに本会議録が製本されますので、市ホームページ、
市情報公開コーナー、図書館等でご覧ください。市ホームページで録画中継もご覧いただけます。

●工事請負契約の締結について

解説

市営住宅御園団地（6号棟）建設工事（建築主体、機械設備及び電気設備）の工事請負契約の締結について

Q 耐震基準について、本市のような大きな津波や地震もないような地域は、設計基準の強度を1割か2割落とすことを国が認めている。6号棟は何割強度を落とし設計しているのか問う。

A 学校や避難所については、強度の割り増しを行うが、市営住宅などは、一般的な建築基準法で計算した強度で設計する。広島県の地域別地震係数は0.9であるため、基準どおり0.9を掛け計算している。

Q LPガスの業者は、どのように決めるのか。また、70戸以上のため、今現在は簡易ガス事業となるが、完成した段階では、どうなるのか問う。

A 簡易ガス事業法による6号棟のガス供給業者を決定するため、現在、募集をかけている。

また、建物が完成した時には、ガス

は自由化されている予定であるが、簡易ガス事業という形は変わらないと聞いている。自由化されると料金等については、中国経済産業局では協議できない形になる状況である。

Q 平成28年5月の生活環境委員協議会の資料では、敷地造成と建築工事の合計で約13億円である。この金額で造成と建物ができ、入居できる状況になるのか問う。

A 工事に変更がなければ、この金額で入居までできる状況になる。



御園6号棟建設予定地

【反対討論】

○「耐震性は国が基準を決め、国にはいい顔をし、市民のほうを向いては心配が残ることは改めるべきである。コストが安ければ良いという行政の在り方は正すべきである」

【賛成討論】

○「契約業者は、今までの実績やラックも含め適合と判断する。地震や土砂災害など心配な面はあるが、国の審査も合格した物件で、安全も担保された設計と理解される」

●その他の議案 1件

※採決の結果、すべての議案が

原案のとおり可決



【反対討論】

○「予定地は悪条件の場所であり、災害で人命が失われた場合責任が取れない。危険区域に住宅等の新規立地を抑制といいながら自ら建設しようとしている」

○「高齢者や社会的弱者を危険区域に追いやるべきでない。市民の安心安全の生活を守るため土砂災害警戒区域に公営住宅等の公的施設を配備するべきではない」

【賛成討論】

○「本議案は契約議決で業者は各社信頼できる。これまで委員会・現地視察等を経て議決され文献・専門家の意見等参考に判断した。事業効果を上げるよう努力すべき」

○「懸念の指摘事項は、安全対策等繰り返し説明されてきた。本市の安心安全への意欲は感じ取れ、今後は、災害を想定した広報活動等日頃からの啓蒙活動が必要」

本会議での採決の結果

原案のとおり可決





細川 雅子

○ふるさと納税の使い方の「見える化」で、まちを元気に！

山崎 年一

○子どもの貧困について問います
○TPP協定の今後と協定が本市に及ぼす影響について問います
○岩国基地における米軍再編について問います

原田 博

○小方公民館の利活用、並びに大竹市シルバー人材センターの拠点づくり、併せて、地域活動支援センター大竹さつき作業所・アイビー作業所の施設展望を問う

田中 実穂

○大竹手漉き和紙の育成について
○後期高齢者の高額医療費の還付について

山本 孝三

○オバマ大統領の広島訪問の意義、核兵器廃絶へ取り組みについて
○公共施設の統廃合、耐震化について
○保育・介護・医療などの一層の充実・支援に向けた財政運営を要望します

日域 究

○127億円の大願寺借金。今後も現状のまま、只々返済を続けますか
○土砂法の指定が見直されます。市営アパート御園6号棟も見直しを
○阿多田の振興策は絶対に必要です。しかし、尾道市のレモンチヌ補助金がゼロなのに、大竹市は8千万円しかも100%補助。明確な理由説明を
○平成27年市議会議員選挙における選挙管理委員会（選管）の責任を問う。

賀屋 幸治

○大竹市地域防災計画に於ける地震対策について

大井 渉

○市民が関心を持っていることに対して、説明責任は果たしていますか

網谷 芳孝

○米軍再編問題に関わる岩国基地問題について
○一般国道2号の越波対策事業(大竹市～廿日市市)について

西村 一啓

○大竹市の伝統・文化・歴史等の展示施設
○高齢化社会における、高齢者への総合的な対策

藤井 馨

○「地震や豪雨による大災害」に対し、行政の考えと対応について伺います

末広 和基

○変革期のいま、求められ、望まれている最も新しい職員像
○行財政改革基本計画においての業務マニュアル化の手法選定の意味や、矢継ぎ早に導入されている新しい制度への変更期に必要なマネジメントについて





細川 雅子

ふるさと納税の使い方の
「見える化」で、まちを元気に！

問 ふるさと納税制度は、納税者が役所に納めるお金の行き先と使い道を自分で決めることができる画期的な制度であり、行政の発信力・政策力が試される制度です。本市は今年3月末から返礼品を用意しましたが期待する効果と現状についてお尋ねします。

答 財源確保、市のPR・情報発信、地元事業者の活性化を目的として寄付者への市特産品の贈呈を開始しました。寄付額の増加にくわえ、本市への関心の高まりを魅力の発信へとつなげていきたいと考えます。

問 ふるさと納税の使い方は、歴史や文化にかかわる事業に使っていただきたい。歴史・文化は私たちが生きていく上での心の糧です。私たちは、豊かな文化のあるまちで暮らし、子育てしたいと思います。まさに本市が重要課題としている定住促進に欠かせない要素です。

答 寄付金は、わがまちプランの6つの基本目標に沿った使途の指定ができ、地方創生基金に積み立てて活用する考えです。テーマを掲げる手法も有効ですが、地方創生向け施策を模索している現状では使途を限定できる段階になく、本市発展のため本来に必要な施策に活用できるよう使い道を見極めたいと考えます。



ふるさと納税パンフレット表紙



山崎 年一

米軍再編と騒音対策を問う

問 平成22年の政府答弁書第364号は「厚木飛行場から岩国飛行場に移駐される艦載機訓練は、厚木飛行場及びその周辺の空域で行われることはない」としています。

本年6月4日の朝日新聞は「米厚木艦載機部隊、新空域で着艦訓練検討 岩国に移駐」の記事を掲載しました。記事は「厚木基地の空母艦載機の訓練実施について、岩国基地を拠点とする空域に移転を検討している」としています。訓練は、厚木基地と洋上の空母を艦載機が深夜頻繁に往復し着艦資格取得訓練(CQ)を3〜4日間実施します。この訓練が、基地周辺住民に多大な負担を強いていることは基地周辺自治体への調査でも明らかです。訓練移転について市長はどのようにお考えですか。

答 米軍再編は、国の抑止力の維持を図りつつ、米軍基地が集中する沖縄をはじめ、基地周辺の負担を軽減するため、在日米軍や自衛隊の配置を見直すものであり、そのためには日本国民全てが平等にその負担をすべきものと考えています。

空母艦載機の着陸訓練を行う恒常的な施設場所は、鹿児島県の馬毛島を候補として、地元と協議を進めていると伺っています。

このような恒常的な訓練施設が岩国基地、もしくは近隣につくられることは、これまでの説明からはあり得ないと思っていますし、騒音等の影響ができるだけ少ないところで実施されるべきと考えています。

【その他の質問】
○子どもの貧困対策について
○TPPが本市へ及ぼす影響について





原田 博

小方公民館を巡る

諸課題への展望を問う

問 小方公民館の位置付けは、先に作成した社会教育施設等の再編基本方針各論では、現有の公民館は廃止するが、研修室部分は機能変更に向け検討するとあります。

一方、小方公民館の体育館部分が岩国大竹道路の事業区域内となることから、その体育館を解体し、用地の一部を来年3月末までに国へ引き渡す予定です。このような状況下、小方公民館の活用、また、大竹市シルバー人材センターからの陳情書（高齢者が地域で活躍できる場の拡大に取り組むシルバー人材センター）採択への対応、また、その一面にある地域活動支援センターⅢ型大竹さつき作業所、そしてアイビー作業所の展望を問います。



解体される小方公民館の体育館部分

答 小方公民館の研修室部分は、引き続き地域の会合や文化活動が可能な場として、また災害時には避難所として利用できるよう整備したいと考えています。

高齢者の就業を支援する大竹市シルバー人材センターの活動には大いに期待していますが、陳情にもあるように、現在使用している建物は、会議室や事務室が狭いなどの問題を抱えています。そこで小方公民館の研修室部分を、施設の管理も含めて移転先の候補としているところです。さつき作業所の施設整備及びアイビー作業所のあり方については、大竹市社会福祉協議会と市が協議する場を設け、将来的に何が最良であり実現するためには何が必要かを検討していきたいと考えています。



田中 実穂

後期高齢者の

高額医療費の還付について

問 高額医療費の伸び率から見ると、この制度が浸透してきたと捉えることができますが、申請後、還付されるまで長期間を要しています。もっとスピーディーな手続き、処理はできないのでしょうか？ また、申請中に亡くなった場合の取り扱いはいくつですか？

答 現在の制度では、広島県後期高齢者医療広域連合で審査決定を行い、還付を実施しているため、処理を早めることが難しい状況です。

被保険者が亡くなられた場合は、民法上の債権となるため、送付された申請書等を法定相続人代表者が市の窓口に届け出ること、相続人に対し還付されることになり

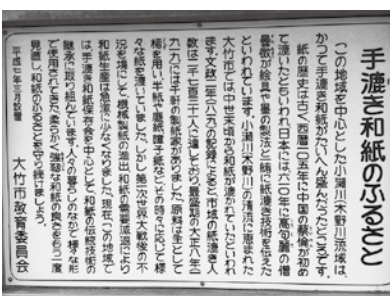
大竹手漉き和紙の
育成支援について

問 大竹の伝統文化として引き継がれてきた手漉き和紙。担い手の高齢化や資金不足などにより、保存、継承が難しくなっています。広島県唯一の手漉き和紙の伝統文化を、細々と保存継承するのではなく、伝統工芸、産業として取り組んでいく考えはありませんか？

答 産業化には、コストや生産性など、難しい問題がありますが、努力していきたいと思っています。

（教育長）

今後大竹の手漉き和紙サポーターズなど、関心をお持ちの方々と行政が協働し、普及・継承に努めたいと考えています。



大竹手漉き和紙の里の看板



山本 孝三

オバマ大統領広島訪問の意義、
核兵器廃絶への取り組みについて

問 「核なき世界」を目指すと言
言されたプラハでの訴えは、
大きく国際議論を高めました。
大竹市が加盟する平和国際首長
会議では、核廃止条約の締結を
求める運動が力強く前進してい
ます。市長の核廃絶への取り組
み、米大統領広島訪問の意義に
ついての所信を問います。

答 現職の米大統領が被爆地広島
を訪れ、世界へ向け核兵器廃絶の
メッセージを発したことは大変意
義あるものと考えます。特に被爆
者や広島県人の「過去を全て受け
入れ、未来を希望する」という言
葉に、人としての心の広さ、気高
さを感じ感動しました。今回の訪
問を一つの契機として、気持ちも

新たに取り組む必要があると思っ
ています。



公共施設の統廃合、
耐震化について

問 熊本地震では、「大きな地
震は無い」と企業誘致等のセー
ルスポイントとされ、学校など
災害時の避難所が基準の10%強
度を下げ建築されたため、今回、
使用できない事態が発生したと
言われます。市はどのように基
準を定めているのでしょうか。

答 建築基準法施行令による広島
県の地域別地震係数に基づき構造
計算した上で、「官庁施設の総合耐
震計画基準」に準拠し、1.25倍又は
1.5倍するなど、施設的重要性に応
じて地震動に対する構造強度を高
めています。



日域 究

市議選における選管の責任は

問 市議選で開票と当選人決定
は選挙会の仕事です。異議申出
を受けた選管は選挙会の決定を
覆しました。選管の指揮下にあ
る選挙会の決定を選管が覆した
ことで選管の監督責任は。

また、この一般質問に委員長
の出席を求めたが欠席です。選
挙は民主主義の根幹であり、委
員長は出席して堂々と答弁すべ
きであるがなぜか。

答 (選挙管理委員会事務局長)
選挙長と立会人から成る選挙会は、
選管とは独立した権限で判断します。
市議選では、選管委員の中から選挙
長を選任しました。選管は合議制の
機関であり、多数決で決定するため、
選挙会の決定と結果が異なることも
あり得ます。委員長の出席要望に沿
えないことは申し訳ありませんが、

事務局長が代わりに出席することを
予め通告しています。

番号	投票	選挙会
③	北地ムッし	北地候補の何人かを記録したかを確認し北地候補の何人かを記録したかを記録し北地候補の何人かを記録したかを記録し
②	キタジタカシ	北地候補の何人かを記録したかを記録し北地候補の何人かを記録したかを記録し北地候補の何人かを記録したかを記録し
①	大港かたかし	北地候補の何人かを記録したかを記録し北地候補の何人かを記録したかを記録し北地候補の何人かを記録したかを記録し

選挙管理委員会が
北林候補の票と決定した3票

ハマチtoレモンに

期待するものは

問 レジ袋からケーブルテレビ
加入料まで漁協経費の100%補助
です。しかし農畜水産業関係
事業補助金交付要綱では定額
補助。また平成25年時点で既
に防衛省には4年間8千万補
助との文書が出されています
が、議会は聞いていません。

答 大竹市の漁業の発展と維持を
目指し、養殖技術開発支援として、
阿多田島漁協に補助金を出してい
ます。あたたハマチto(と)レモ
ンは、多くの方から、おいしいと
高い評価を受け、期待もされてき
ています。



賀屋 幸治

大竹市地域防災計画に於ける
地震対策について

問 甚大な被害をもたらした熊本地震の被害状況を踏まえ、今後予想される南海トラフ巨大地震や岩国断層帯などが引き起こす大規模な地震被害想定に対し、大竹市の地震対策の現状と課題をどの様に総括し、今後の防災対策に取り組んでいくのかを伺う。

特に人的被害の軽減策として現在、家屋倒壊防止のために住宅の耐震改修助成事業に取り組んでいるが十分とは言えない。一部屋だけでも倒壊から身を守る「耐震シェルター」の設置補助事業や地震後に多く発生する通電火災を防止するための「感震ブレーカー」の設置補助事業など新たな震災対策事業に取り組んでもらえないかを伺う。



熊本県益城町(平成28年5月15日)

答 市民の皆様が地震による被害想定を知ることによって防災意識を持っていたり、ただけるよう、広報紙や出前講座、ハザードマップなどによって啓発してきました。防災意識の向上が、防災・減災の基本と考えています。家庭で家具の転倒防止対策や食料・水の備蓄など備えをすることで、命や財産を守ることにつながります。これからの意識と行動をテーマに取り組みたいと考えています。

住宅耐震改修補助事業については、今年度、更新・見直し予定の耐震改修計画で、建築物所有者の意識啓発について検討したいと考えています。「感震ブレーカー」についても、各種訓練や広報紙等で普及・啓発に取り組みたいと考えています。



大井 渉

市民の関心事に対する
説明責任について問います

問 公民館などの教育施設の再編計画、5年検討の玖波公民館・栄公民館、廃止される小方公民館の再利用計画やそれに伴う雨水排水など、また岩国大竹道路建設で市道付け替え計画でどのような市道になるのか。平成27年8月投開票の市議選の裁判はなぜ起こったのか、障がい者差別解消法の施行に伴う商店などに対する周知と、市役所の相談窓口や施設整備改修計画など地域での問題点や課題を市民に丁寧に説明する責任が果たされていますか。熊の目撃情報を防災行政無線で放送しましたが、一部の地域に放送されませんでした。危機管理の徹底を図ってください。

小方公民館の土地売却、施設の補償費約3億円などは教育財

産です。教育や施設補修に使うべきで、地方創生基金に積み立てるのは目的外です。
厳しい財政状況も市民に分かりやすく説明する責任があります。

答 議会は地方公共団体の議決機関であり、市民から信任を受け活動されています。そのため市民への説明には、議員のお力が発揮されることを期待しています。したがって、大きな事業や多くの市民に関わる制度の新設等は、これまでも説明や意見を伺う機会を設け、議会と一緒に進めてきました。

検討過程にあり、細かな情報や時間軸を明言できない場合もあります。が、全てのまちづくりは議会のご理解の下、執行部と両輪で進めることが大前提です。今後も状況を見極めながら、適切に説明し進めていきたいと考えています。

また、市民の皆様にも市広報などで取組をお伝えしています。これは共に本市の将来を考え、取り組みたいという思いに他なりません。





網谷 芳孝

国道2号線の大竹・廿日市間の越波対策事業について

問 近年の大型化した台風は、今ある堤防では到底防ぎ切れず、その都度通行止めが繰り返され、玖波地区の道路も大混雑が発生します。

早急に堤防の改良工事が必要かと思いますが、今後の取り組みについて伺います。

答 越波対策の事業推進について、玖波地区・大野地区の住民代表の方と共に、昨年国へ要望しました。今後も、台風や高潮・津波対策のための国道2号の整備の推進とあわせて、バイパス的な道路の整備も重要であることを、国に対して要望していきたいと考えています。



岩国基地

米軍再編問題に関わる
岩国基地問題について

問 来年(平成29年)に迫り来る、神奈川県厚木基地より山口県岩国基地への艦載機59機の移駐の予定に関し、岩国基地の大変近い位置にある本市の今後の騒音被害はもとより安心で安全な住環境をいかに守るか、今後の取り組みについて伺います。

答 国に対して、機会あるごとに本市の状況を伝え、特段の配慮をいただくよう努めています。騒音対策等の安全・安心に関する施策はもとより、本市の負担や協力に見合った継続的な支援を得られるよう、今後も取り組んでいきたいと考えています。



西村 一啓

大竹市の伝統・文化・歴史等の展示施設について伺う

問 本市では、伝統・文化・歴史等の資料は図書館等に保管、展示しています。将来定住する子ども達が自慢できることのひとつとなると考えれば、ふるさとの伝統等を子ども達に残すことは、我々大人の責務ではないかと考えます。今後の展示施設設置についての考えを伺います。

答 現在、社会教育施設等の再編や小方のまちづくり構想を進めています。郷土史料の保存、展示のあり方については、これらを踏まえて総合的かつ長期的な視野に立って考えてまいりたいと思います。

高齢化社会における、高齢者への
総合対策について伺う

問 市の高齢化率は4月1日現在32.99%です。地域の元気な高齢者の方に行政と一体化してお手伝い等お願いすれば、高齢者の生きがい作りにも繋がると思います。高齢者が安心・安全に暮らせるまちづくりについて総合的な対策をお尋ねします。

答 地域の中で、高齢者が元気な状態を保ち続けられることを主軸に考えています。今後は、自宅から徒歩圏内の各地域で体操等を行い、地域とのつながりを維持し、社会参加しながら介護予防をしていく視点が大切で、現在、各地域で「いきいき百歳体操」を週1回行うことを勧めています。





藤井 馨

「地震や豪雨による大災害」に対し、
行政の対応について伺います

問 今回は「熊本地震」クラスの地震が大竹市を襲ったと想定し、大竹市は、どのようなお考えで対応し、どのような救援準備ができていますか。市民の皆様の目線で質問致します。

1 本庁舎は震度7に耐えることが出来ますか。「災害対策本部」を立ち上げるのに、時間はどれ位要しますか。
2 避難場所での飲料水や食料や防寒対策、そして衛生面の対策はどのようになっていますか。
3 医療や救急体制「西医療センター」との取り決めはどのようなになっていますか。介護や障害者施設を利用されている方の救済について伺います。



コミュニティサロン元町

答 1 万が一の場合、本庁舎被災時の代替施設は消防庁舎を指定しています。台風など予測可能な場合は、概ね1時間以内で本部を設置できますが、大規模地震では時間がかかると想定します。

2 15か所の避難場所、飲料水や非常食、毛布や防寒シートなどを備えており、その他の避難場所には必要に応じて職員が運搬します。健康管理は保健師が行いますが、対応が困難な場合は、「広島県災害時公衆衛生チーム」の派遣を要請します。

3 大竹市医師会と救護活動の協定を締結し、広島西医療センターとは、救急搬送が行えるよう体制を整えています。介護や障害者施設は消防計画を作成し、定期的に避難・誘導訓練を行うことになっています。



末広 和基

地方自治変革期に望まれる、最も新しい職員像について伺います

問 4月から導入された人事評価制度において、旧来の勤務評定制度における評価項目・評価基準はどう変質していますか。その具体的内容に意図され、望まれている最も新しい職員像のポイントをお聞かせください。職員はいかに変化・成長すべきなのでしょう。そのために必要な育成側の姿勢についても伺います。

答 新制度では自ら決定した目標をもとに業績評価を行い、職位により評価する項目の視点を換え、評価結果を面談により職員にフィードバックするなど、面談を通じて求められる職員像に近づけるよう指導・助言していきます。広い視野で自ら考え仕事をしていく職員が、求められる職員像と思います。

新制度導入時の行政のマネジメントはいかにあるべきですか？

問 市長はこの変革期を「ガバメントからマネジメントへ」の一言で言い当てておられます。その「マネジメント」の意味を説明する事で、行政組織の目標や目的を表現いただけますか？

答 市民の皆様の幸せのため、金銭的な効率だけでなく、本当の効果が現れるにはマネジメントが必要だとの思いです。全ての職員が共通の目標・目的に向かって、働きがいを感じられるよう取り組みます。



大竹市役所 2階

陳情・請願・意見書

請願・陳情名 請願・陳情者	要 旨	●付託委員会委員会の討論 【結果】	本会議の討論 【結果】
小方小学校移転跡地に「公園」設置陳情 小方一丁目南自治会 会長 飯森 仁志 ほか2団体	①地区自治会の各種イベントが出来る広場であること ②幼児～高齢者までが使用できる広場であること ③小方小学校跡地としてのモニュメントを設置すること ④災害対策本部が設置された際の第2次避難場所の新規指定	●小方地域まちづくり対策特別委員会 ○「旧小方小・中学校跡地の利活用の動向を踏まえて審査する必要がある」 【継続審査】	【継続審査】
地方財政の充実・強化を求める意見書採択について請願 大竹市職員労働組合 執行委員長 榎原 研介	財政再建目標を達成するためだけに、不可欠なサービスが削減されれば、国民生活と地域経済に疲弊をもたらすことは明らかである。 ついては、地方財政の充実・強化に向けて、地方自治体からの意見反映を強めるため、意見書を政府に送付してほしい。	●総務文教委員会 【採択】	【採択】

意見書（抜粋）

平成29年度の政府予算、地方財政の検討にあたっては、国民生活を犠牲にする財政とするのではなく、歳入・歳出を的確に見積り、人的サービスとしての社会保障予算の充実、地方財政の確立をめざすことが必要です。このため、政府に以下の事項の実現を求めます。

記

1. 社会保障、被災地復興、環境対策、地域交通対策、人口減対策など、増大する地方自治体の財政需要を的確に把握し、これに見合う地方一般財源総額の確保をはかること。
2. 子ども・子育て支援新制度、地域医療構想の策定、地域包括ケアシステム、生活困窮者自立支援、介護保険制度や国民健康保険制度の見直しなど、急増する社会保障ニーズへの対応と人材を確保するための社会保障予算の確保および地方財政措置を的確に行うこと。
3. 地方交付税における「トップランナー方式」の導入は、地域によって人口規模・事業規模の差異、各自治体における検討経過や民間産業の展開度合いの違いを無視して経費を算定するものであり、廃止すること。
4. 復興交付金、震災復興特別交付税などの復興にかかる財源措置については、復興集中期間終了後の平成28年度以降も継続すること。また、平成27年度の国勢調査を踏まえた人口急減・急増自治体の行財政運営に支障が生じることがないよう、地方交付税算定のあり方を引き続き検討すること。
5. 地域間の財源偏在性の是正のため、地方偏在性の小さい所得税・消費税を対象に国税から地方税への税源移譲を行うなど、抜本的な解決策の協議を進めること。
同時に、各種税制の廃止、減税を検討する際には、自治体財政に与える影響を十分検証した上で、代替財源の確保をはじめ、財政運営に支障が生じることがないように対応をはかること。
6. 地方財政計画に計上されている「歳出特別枠」「重点課題対応分」および「まち・ひと・しごと創生事業費」については、自治体の財政運営に不可欠な財源となっていることから、現行水準を確保すること。また、これらの財源措置について、臨時・一時的な財源から恒久的財源へと転換をはかるため、社会保障、環境対策、地域交通対策など、経常的に必要な経費に振り替えること。
7. 地方交付税の財源保障機能・財政調整機能の強化をはかり、市町村合併の算定特例の終了を踏まえた新たな財政需要の把握、小規模自治体に配慮した段階補正の強化などの対策を講じること。

以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出する。

平成28年6月27日

大 竹 市 議 会

（提出先）内閣総理大臣、内閣官房長官、総務大臣、財務大臣、内閣府特命担当大臣（経済財政政策担当）、
経済産業大臣、地方創生担当大臣

第2回市議会（定例会） 議案の審議結果表（主な議案）

	議 案 な ど	児玉朋也	末広和基	賀屋幸治	北地範久	西村一啓	和田芳弘	大井 渉	網谷芳孝	藤井 馨	山崎年一	日域 究	細川雅子	寺岡公章	原田 博	田中実穂	山本孝三	審議結果
議案第40号	大竹市の特定の事務を取り扱う郵便局の指定について	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第41号	工事請負契約の締結について〔市営住宅御園団地(6号棟)建設工事(建築主体工事)〕	—	○	○	○	○	○	●	○	●	●	●	○	○	○	○	●	原案可決
議案第42号	工事請負契約の締結について〔市営住宅御園団地(6号棟)建設工事(機械設備工事)〕	—	○	○	○	○	○	●	○	●	●	●	○	○	○	○	●	原案可決
議案第43号	工事請負契約の締結について〔市営住宅御園団地(6号棟)建設工事(電気設備工事)〕	—	○	○	○	○	○	●	○	●	●	●	○	○	○	○	●	原案可決
議案第44号	平成28年度大竹市一般会計補正予算(第1号)	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決

この表は本会議で採決のあと、本人の申告にもとづいて作成したものです。 —：議長 ○：賛成 ●：賛成でない

基地周辺対策特別委員会 先進地事例調査研究報告

委員長 寺岡 公章



第4航空群資料室の見学

平成28年5月23日、24日

岩国基地は、平成29年には厚木基地から艦載機59機の移転が予定されています。厚木基地や周辺都市の現況を把握することは将来の大竹市のまちづくりにおいて大変参考になると考え、本委員会は現地の調査研究を行ってまいりました。

◆厚木基地

厚木基地の現在の様子を職員から説明を受け、基地内の見学をしました。岩国基地と同様、道を隔ててすぐに住宅があるため、住宅のすぐ上を航空機が飛んでいる状況でした。

◆基地周辺住民との意見交換会

騒音被害の状況、基地に対する住民の基本的感情など住民の思いを聞きました。

◆神奈川県座間市

基地が市内にないものの、着陸時に上空を通るため、長年航空機の騒音に悩まされているとのことでした。騒音苦情に対する対応、基地に対する行政の対策などを伺いました。

◆神奈川県綾瀬市

基地が綾瀬市内にあり、市と議会連名で要望書を国宛てに提出しているのが特徴的なので、その経緯や内容について、また、騒音の現状や行政の対策・対応について伺いました。

今後の委員会の活動は、これまでの半年間の調査活動を整理し、未調査部分を補足しながら関係機関への要望書の作成工程に入ります。

引き続き大竹市民のために、しっかりと安心安全対策がとられるよう取り組んでまいります。

議会日誌

5月～7月

- 5月 10日 議会報告会
12日 議会報告会
14日 議会報告会
16日 基地周辺対策特別委員会
17日 生活環境委員会先進地事例調査研究(廿日市市)
23日～24日 基地周辺対策特別委員会先進地事例調査研究(厚木基地、座間市、綾瀬市)
26日 生活環境委員協議会
岩国・大竹・和木環境対策協議会総会
31日 全国市議会議長会(東京都)
6月 1日 全国石油基地協議会総会(東京都)
3日 基地周辺対策特別委員会
6日 議会運営委員会
議員全員協議会
広報広聴特別委員会
13日 本会議
14日 本会議

- 15日 総務文教委員会
16日 生活環境委員会
生活環境委員協議会
生活環境委員政策研究会
17日 基地周辺対策特別委員会
小方地域まちづくり対策特別委員会
議会改革調査会
27日 本会議
議員全員協議会
7月 1日 広報広聴特別委員会
11日 広報広聴特別委員会
15日 基地周辺対策特別委員会
27日～28日 全国市議会議長会 中国・四国部会
定期総会(境港市)

【視察来訪】

- 5月 18日 大阪府泉南市議会
小中一貫校について
7月 12日 福島県白河市議会
小中一貫校について

中国市議会議長会 永年勤続表彰

(敬称略)

【市議会議員48年以上特別表彰】

山本 孝三

【市議会議員16年表彰】

原田 博

【市議会議員12年表彰】

細川 雅子
上野 克己

【市議会議員8年表彰】

児玉 朋也
山崎 年一
乃美 晴一
北林 隆

議会を傍聴しませんか

市議会では予算や条例をはじめ行政に対する一般質問など、住みよいまちづくりをめざして審議をしています。
本会議、委員会とも傍聴できますので、議会がどのように運営されているか傍聴してみませんか。

9月議会日程(予定)

本会議	9月6日(火)
本会議(予備日)	9月7日(水)
常任委員会	9月8日(木)
特別委員会	9月9日(金)
〃	9月12日(月)
本会議	9月20日(火)

【訂正とお詫び】

前号 議会だより

(5月号)

P7

●あたたハマチ to
レモンについて

平成28年度からは



平成29年度からは

に訂正します。関係者の方々には大変ご迷惑おかけしました。お詫び申し上げます。

議会報告会を開催しました

報告会の内容

- 議会報告
 - ・平成28年度予算審査報告
 - ・3月定例会議案審査報告
 - ・質疑応答
- 意見交換



平成28年5月10日、12日、14日の3日間、市内9会場（防鹿集会所・立戸集会所・阿多田島漁協・サントピア大竹・玖波公民館・農林振興センター・エスポワールおおたけ・小方公民館・松ヶ原集会所）で、平成28年議会報告会を開催しました。

合計131人ご来場いただき、議員からの議会報告の後、議会に関する様々な意見、ご感想等をいただきました。

各会場の報告書とアンケートは、大竹市（市議会）のホームページに掲載しています。

報告に関する

主な質疑

Q 小方JR線路ガード下は離合しにくいので、通路拡幅等の早期改善をして欲しい。今後の状況について説明を。

A 国土交通省と岩国大竹道路建設に先立って協議している。併せて対面通行できる道路幅も要望している。工事費用等については手戻りの少ないように考えている。

Q 政務活動費について、一人当たり平均8万5千円（平成27年9月改選後12万6千円のうち）使用と言われたが、使わない人は活動していない、使う人は活動していると評価できるのか？

A 個々によって使う額がかなり違う。市への報告はかなり厳しくなってきた。一概に使っていないから活動していないとはいえない。



意見交換でのご意見等

Q 市庁舎の耐震強度不足や、消防団屯所などの老朽化の状況において、行政や議会としての防災意識について問う。

A 市庁舎の耐震強度不足は6階部分のみと聞いている。財政不足問題が基本にあると認識している。また、防災意識を強くもって議会活動に努めている。災害時クイックガイドを作成し、議会人としての責任意識の共有を図っている。

Q 大竹駅東口は、取り組みにスピード感がない。

A 大竹市の財政状況も理解していただきたい。大竹駅東口は、財源が確保できれば、平成30年の初頭頃から工事に入ると聞いている。

Q 玖波公民館の耐震強度不足については？老朽化についての認識を問う。

A 質問を通して要望しているが、財政問題がベースとなっている。社会教育施設の再編計画に基づき5年間の財政状況を鑑み、判断すると聞いている。

Q 当地区の水路清掃等自治会活動に市の職員が積極的に参加してくれる。市の職員も地元へ帰れば地域の一員であるので、自治会活動に参加することで顔の見える行政につながると思う。そういった啓蒙をしてもらいたい。

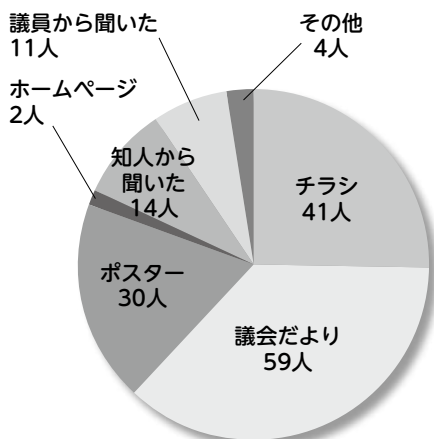
A 貴重な意見として市の担当部署に伝えておく。

アンケート結果

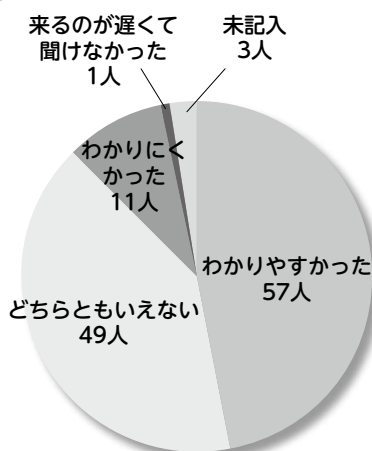
〈回収数121枚〉



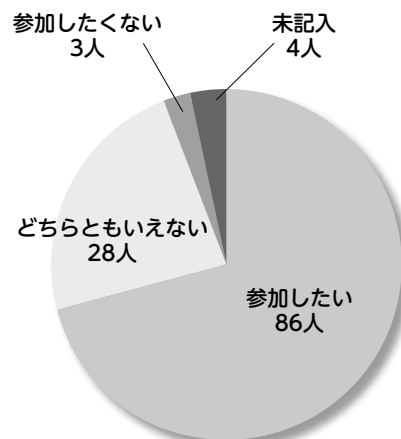
問1 議会報告会をどのようにして知りましたか



問2 説明内容について



問3 今回のような報告会に、また参加したいと思いますか。



ご意見・ご感想（抜粋）

- ・意見交換の場では住民の方々が自分の住んでいる区域の安全のことなどを真剣に考えていらっしゃることに感動しました。質問に対する議員さんの応答も専門的すごいです！と思いました。良い勉強をさせていただきました。
- ・日頃きくことができない議会報告の機会がありよかった。地元の声をきいてもらえる機会はよかった。
- ・地元に関する事項が少なすぎる。
- ・議員さんと直接お話しして、意見要望できるよい機会だと思った。引き続き参加していきたい。
- ・報告会に参加する人が少ないということは、市議・市議会に興味関心がないという表れでは？
- ・議員の議会報告より、市民の市政に対する意見をよく聞いてほしい。
- ・孫の住むこの町に夢を与えてください。心のあたたかい街にしましょう皆で。
- ・開催時期を考慮頂きたい。田植え時期などで一番忙しい時である。
- ・参加者を多く集める方策を考えるべきと思う。
- ・テーマをしぼって意見交換をしてはどうか？
- ・沢山の意見がでて勉強になった。もっとこのような機会を増やして欲しい。
- ・地域に出て活動報告、市政の理解を上げるようにこうした説明会を開かれることは結構なことと思います。住み易い地域づくりに一層の活躍を期待します。



議会報告会の目的は、大竹市議会としての議会活動に関する情報を積極的に公開するとともに、市民の皆さまのご意見や考えを把握し、今後の議会活動や市政運営に反映させるためのものです。

市民の皆さまからいただいた貴重な生の声は、議会に対する意見・要望については議会内で検討し、その他は執行部に報告させていただきます。

今後も、皆様さまのご意見を生かし、より良い報告会、意見を聴く会にしていきたいと思います。

第13回のインタビューは、軟式野球チーム「大竹バッファローズ」の伊東監督と部員のみなさんです。



女子で主将として頑張っている
安野 愛さん



コーチ、監督歴通算30年近く
伊東 一利さん



大竹バッファローズについて教えてください

監督 結成して42年経ちます。現在、部員は21名、全員大竹小です。



ロングティー練習中



監督のノックで守備練習

みんな礼儀正しく大きな声で挨拶してくださいましたし、練習中も大きな声が出ていますね。

監督 それは基本です。中でも愛ちゃん元気で一番練習中に大きな声を出せているので主将になりました。

チームワークで大切なことは何だと思えますか。

愛さん みんなの様子をよく見て観察することだと思います。

練習で楽しいこと、つらいことは？

部員 楽しいことは、練習での鬼ごっこにバッティング練習で、つらいことは、シートノックと走ることです。



さかえ公園で週に3回練習しています！(^^)！

応援しています。頑張ってください。

その大会の目標は？
5・6年生 もちろん優勝です！

厳しい練習の成果で、先日広島県信用金庫旗大会で優勝されたそうですね。おめでとうございます。
監督 7月末に高知県である西日本大会に出場できることになりました。これからの練習にも熱が入ります。子ども達の思い出に残るような大会また遠征になることを願っています。



あとかぎ

先般4月14日に発生した熊本地震は震度7の余震と2日後に再び震度7の本震が発生したという地震史上例のない想定外の連続地震で甚大な被害を引き起こしました。過去に震度7を記録した地震は兵庫県南部地震(H5.1.17)、新潟県中越地震(H16.10.23)、東北地方太平洋沖地震(H23.3.11)の3例だけであり、熊本地震の大きさが計り知れます。被災者の多くが予想もしていなかった地震ですが、地震列島の日本は今の地震の活動期に入っており、同様の地震はいつどこで起きてもおかしくないと言われています。国の地震調査研究推進本部が主要な活断層帯(97地帯)の長期評価を発表していますが、熊本地震もこの活断層帯の活動によるものでした。大竹市にも岩国断層帯の大竹断層があります。対岸の火事ではなく、真剣に地震対策に取り組まなければなりません。大切な人(命)を守るために！「備えあれば患いなし」です。

広報広聴特別委員

委員長
副委員長

山崎 年一
和田 芳弘
末広 和基
賀屋 幸治
北地 一久
西村 啓
日域 究



熊本県益城町
(平成28年5月15日)

発行・平成28年8月1日 大竹市議会

広島県大竹市小方二丁目11-1

Tel 0827-5912183

市議会だよりは市ホームページにも掲載しています。